

# 第1学年1組 算数科学習指導案

日 時	10月3日(木)第5校時	授業者		場 所	1年1組教室
単 元 名	3つのかずのけいさん				
児 童 の 実 態	1学期には、文章問題を読みブロックを操作し、その動きから立式して答えを出すことを学習した。ほとんどの児童は10までのたし算、ひき算が正しく計算できるようになったが、時間のかかる児童も数名いる。				
研究内容について	2 -	3口の数の加減混合の場面を、ブロックの操作をしながらペアで説明する活動を通して、自分の考えを確かにし、全体交流で生かすようにする。			
	3 -	「始めに、次に、だから」の言葉を使って、筋道を立てて式の説明をすることができるようにする。			
本時のねらい	続いて起きる事柄を、ブロックの操作と結び付けながら1つの式に表すことができる。				
人権教育の観点	ブロックを操作する場面で、ブロックの動きと結び付け、たし算とひき算の混じった1つの式に表せることに気付く。(認識力)				

本時の展開(3/6)

時間	過程	ねらい	学 習 活 動	指導・援助 評価規準
0	つかむ	問題を読み、内容をとらえることができる。	1. 問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">でんしゃにいぬが5ひきのっています。4ひきおりました。2ひきのりました。いぬはなんびきになったでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・最初に犬が5ひき乗っている。4ひき降りて、2ひき乗ったから、たし算とひき算の式になる。</li><li>・これも、1つの式に表すことができる。</li></ul>	・絵を見せながらお話をする。 ・分かっていることや聞いていることを明確にする。 ・今までの学習と同じように、1つの式に表すことができることから、課題へとつなげる。
7		本時の課題をつかみ、見通しをもつことができる。	2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たしざんとひきざんのはいった3つのかずのおはなしを、1つのしきにあらわそう。</div>	
10	考えをもつ	ブロックの操作と結び付けながら、1つの式に表すことができる。	3. 自分の考えをもつ。 1つの式は $5 - 4 + 2$ 始めに $4$ ひき降りたので $5 - 4$ 次に $2$ ひき乗ったので $1 + 2$ だから1つの式は $5 - 4 + 2 = 3$ 答え3ひき	・ブロックを操作しながら「始めに、次に、だから」を使って1つの式を考え、説明できるようにする。 ・1つの式にできない児童には、個別に聞きながら $5 - 4$ の続きがあることから、つなげて $+ 2$ と書くように指導する。
15	深める	場面とブロックの操作と結び付け、「ひく」の次に「たす」が繋がってきていることから、加減混合の1つの式になることを説明することができる。	4. ペア交流をし、その後全体交流をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">始めに 5匹乗っていて4匹降りたのでひき算になり、<math>5 - 4</math>で1匹残っている。 次に そこへ2匹乗ってきたのでたし算になり、<math>1 + 2</math>で3匹 だから 式は <math>5 - 4 + 2 = 3</math> 答え 3ひき</div>	・ペア交流を位置付け、自分の考えを説明できるようにする。
30		確認問題で、もう一度、場面とブロックの操作と式を結びつけて説明することができる。	5. 確認問題に取り組む。(教科書P91の5) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">始めに なしが6個あって3個買ってきたので、たし算になって <math>6 + 3</math>で9になる。 次に 7個食べたのでひき算になり、<math>9 - 7</math>で2 だから 式は <math>6 + 3 - 7 = 2</math> 答え 2個</div>	・ブロックを操作しながら説明し、1つの式に表すようにする。
35	確かにする		6. まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たしざんとひきざんのはいったしきも、はなしのじゅんにつなげて1つのしきにあらわす。</div>	3口の数の加減混合の場面を、ブロックの操作と結び付けながら1つの式に表すことができる。 (数学的な考え方)
40		練習問題で本時の学習の理解を深める。	7. 基本問題を解く。教科書P91の6	

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
3つのかずのけいさん	1	<p>・続いて起こる事柄をブロックの操作活動と結び付けながら立式することを通して、1つの式に表すよさに気付き、3口の加法の計算の仕方が分かる。</p>	<p>1. 問題をつかむ。 いぬは、みんなでなんびきになるでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 ブロックのうごきにあわせてしきにあらわそう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。 ・ <math>3 + 2 = 5</math>   <math>5 + 4 = 9</math>   こたえ 9ひき ・ <math>3 + 2 + 4 = 9</math>   こたえ 9ひき</p> <p>4. 考えを交流する。 ・ 3つの数の計算も1つの式に書くことができるんだな。 ・ 1つの式に表すと、連続した1つの場面であることが分かりやすい。</p> <p>5. 確認問題をする。</p> <p>6. まとめる。 3つのかずのたしざんも、1つのしきにあらわすことができる。</p> <p>7. 基本問題に取り組む。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; ・ 3口の数の加法の場面を、1つの式に表すよさに気付き、計算することができる。</p> <p>本時に使う既習内容 1年1学期 「ふえるといくつ」 ブロックや手の動きで、どんな計算になるのかを考え、立式する。</p>
	2	<p>・続いて起こる事柄をブロックの操作活動と結び付けながら1つの式に表し、3口の減法の計算の仕方が分かる。</p>	<p>1. 問題をつかむ。 いぬは、なんびきになったでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 3つのかずのひきざんのおはなしを、1つのしきにあらわそう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。 ・ 犬をブロックに置き換えて、お話に合わせて操作しながら、式を作る。</p> <p>4. 考えを交流する。 ・ ペアで自分の考えを紹介し合い、発表する。 ・ 始めに9ひきのっていて、次に3ひきおりて、さらに2ひきおりたから、ブロックを順にとっている。だからひき算になる。 <math>9 - 3 - 2 = 4</math>   こたえ 4ひき</p> <p>5. 確認問題をする。</p> <p>6. まとめる。 3つのかずのひきざんは、ひだりからじゅんにけいさんすればよい。</p> <p>7. 基本問題に取り組む。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; ・ 3口の数の減法の場面を1つの式に表すよさに気付き、計算することができる。</p> <p>本時に使う既習内容 1年1学期 「のこりはいくつ」 ブロックや手の動きで、どんな計算になるのかを考え、立式する。</p>
	3	<p>・続いて起こる事柄を、ブロックの操作活動と結び付けながら1つの式に表すことができる。</p>	<p>1. 問題をつかむ。 いぬはなんびきになったでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 たしざんとひきざんのはいった3つのかずのおはなしを、1つのしきにあらわそう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。 ・ 犬をブロックに置き換え、お話に合わせて操作しながら、式を作る。</p> <p>4. 考えを交流する。 ・ ペアで自分の考えを紹介し合い、発表する。 ・ 始めに5ひき乗っていて、次に4ひき降りて、さらに2ひき乗るので、たし算とひき算になる。 <math>5 - 4 + 2 = 3</math>   A 3ひき</p> <p>5. 確認問題をする。</p> <p>6. まとめる。 たしざんとひきざんのはいったしきも、はなしのじゅんにつなげて1つのしきにあらわす。</p> <p>7. 基本問題に取り組む。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; ・ 3口の数の加減混合の場面を、ブロックの操作と結び付けながら1つの式に表すことができる。</p> <p>本時に使う既習内容 1年1学期 「ふえるといくつ」 「のこりはいくつ」 ブロックや手の動きで、どんな計算になるのかを考え、立式する。</p>

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
もんだいづくり	4 イ	・加減混合の式と絵を見て、加減混合の場面をとらえ、加減混合の問題を作ることができる。	1. 問題をつかむ。 $3 + 5 + 2$ のしきになる問題をつくりましょう。 2. 課題をつかむ。 $3$ つのしきになるもんだいをつくろう。 3. 自分の考えをもつ。 ・子どもが3人遊んでいる。5人遊びに来た。また、2人遊びに来た。 ・お花の問題、小鳥のもんだいもできる。 ・「あわせていくつ」と「ふえるといくつ」のお話ができる。 4. 考えを交流する。 ・(例) 花の問題 赤い花が3本、白い花が5本、黄色い花が2本咲いています。 花は全部で何本あるでしょう。 $3 + 5 + 2 = 9$ A 9本 5. まとめる。 $え$ のなかからしきのかずとおなじものをみつけ、おはなしをつくればよい。 6. 基本問題に取り組む。	<知・理> ・絵を見て、合併と増加の場面を捕らえ、問題を作ることができる。  本時に使う既習内容 1年1学期 「あわせていくつ、ふえるといくつ」 加法には、合併と増加の場面がある。
くばりかた	5 イ	・同じ数ずつ分ける操作活動を通して、分け方を図や式に表すことができる。	1. 問題をつかむ。 $8$ のおかしをおなじかずずつわけます。わけかたをえやしきにかきましょう。 2. 課題をつかむ。 $ぶろ$ っくをつかって、おなじかずずつにわけよう。 3. 自分の考えをもつ。 ・2つにわけると、4こずつになる。 $4 + 4$ ・3こずつは、わけられない。 ・2こずつわけることでもできる。 $2 + 2 + 2 + 2$ 4. 考えを交流する。 ・4こずつ2つに分ける。 $4 + 4 = 8$ ・2こずつ4つに分ける。 $2 + 2 + 2 + 2 = 8$ 5. 確認問題をする。 6. まとめる。  $おなじかずずつわけ$ るわけかたは、いくつがある。4つのかずのしきもある。 7. 基本問題に取り組む。	<数学的な考え方> ・同じ数ずつのいろいろな分け方を、ブロックを使って図や式に表すことができる。  本時に使う既習内容 1年1学期 「いくつといくつ」 ブロックを2つに分ける。
かずのみかた	6 イ	・答えが同じになる加法、減法、加減混合の式を作る活動を通して、数の見方を広げることができる。	1. 問題をつかむ。 $こたえが8$ になるたしざんやひきざんのしきをいろいろつくりましょう。 2. 課題をつかむ。 $こたえが8$ になるしきをかながえよう。 3. 自分の考えをもつ。 ・ $4 + 4$ ・ $4 + 2 + 2$ ・ $5 + 2 + 1$ ・ $10 - 1 - 1$ ・ $7 + 3 - 2$ ・ $1 + 3 + 3 + 1$ 4. 考えを交流する。 ・たしざんやひきざんをまぜれば、たくさんできる。 5. まとめる $たしざんやひきざんをまぜれば、4つのかずまでのしき$ をつくることできる。 6. 基本問題に取り組む。 ・9や10になる式をつくる。	<技能> 同じ答えになる式を作ることができる。  本時に使う既習内容 1年1学期 「あわせていくつ、ふえるといくつ」 「のこりはいくつかがいはいくつ」 たしたりひいたりして答えを出す。

時 (まとめの言葉)	基本問題	チャレンジ問題
<p>①</p> <p>3つのかずのたしざんも1つのしきにあらわすことができる。</p>	<p>教科書 P 8 8</p> <p>◀2 (1) <math>2 + 1 + 3</math>                      (2) <math>7 + 3 + 4</math></p> <p>(3) <math>5 + 5 + 2</math>                              (4) <math>4 + 2 + 4</math></p>	<p>算数の練習 P 7</p> <p>(練習 1)</p> <p>(練習 3)</p>
<p>②</p> <p>3つのかずのひきざんは、ひだりからじゅんにけいさんすればよい。</p>	<p>教科書 P 9 0</p> <p>◀4 (1) <math>10 - 5 - 2</math>                      (2) <math>12 - 2 - 4</math></p> <p>(3) <math>15 - 5 - 3</math>                              (4) <math>9 - 1 - 4</math></p>	<p>算数の練習 P 8</p> <p>(練習 2)</p> <p>(練習 4)</p>
<p>③</p> <p>たしざんとひきざんのはいったしきも、はなしのじゅんにつなげて1つのしきにあらわす。</p>	<p>教科書 P 9 1</p> <p>◀6 (1) <math>7 - 2 + 3</math>   (2) <math>10 - 8 + 2</math>   (3) <math>10 - 9 + 5</math></p> <p>(4) <math>4 + 4 - 5</math>   (5) <math>2 + 8 - 3</math>   (6) <math>3 + 7 - 9</math></p>	<p>算数の練習 P 9</p> <p>(練習 1)</p> <p>(練習 2)</p>
<p>④</p> <p>えのなかから、しきのかずとおなじものをみつけ、おはなしをつくる。</p>	<p><math>3 + 5 - 6</math>のしきになるおはなしをつくりましょ う。</p>	<p>算数の練習 P 1 0</p> <p>(練習 1)</p>
<p>⑤</p> <p>おなじかずずつわけるわけかたは、いくつがある。</p>	<p>教科書 P 9 2</p> <p>◀7 10 この あめを おなじ かずずつ わけます。 わけかたを えや しきに かきましょ。</p>	<p>算数の練習 P 1 1</p> <p>(練習 1)</p>
<p>⑥</p> <p>たしざんやひきざんをまぜれば、4つのかずまでのしきをつくることができる。</p>	<p>教科書 P 9 3</p> <p>こたえが9になるたしざんやひきざんのしきを、いろいろつくりましょ。</p>	<p>教科書 P 9 3</p> <p>こたえが10になるたしざんやひきざんのしきを、いろいろつくりましょ。</p>